

内科学：消化器疾患

45-A-094 出血の症状で正しいのはどれか。(解なし)

1. 少量の咯血は致死的にならない。少量であっても、気道を閉塞させるなど致死性になる可能性はある。
2. 上部消化管出血はコーヒー残渣様の吐物となる。胃腸にさらされると酸化し、コーヒー残渣様となる。
3. 下部消化管出血は黒色軟便となる。食道・上行結腸の出血では黒色便となるが、下行結腸以降
4. 下部消化管出血は大量出血となる。大量出血に行くと求まっているわけでは無い。では、赤色便となる。
5. 内痔核からの出血は光沢のある暗赤色の便となる。

肛門付近の出血では鮮やかな赤色便となる。

46-A-092 ヘリコバクター・ピロリ菌の感染が原因となるのはどれか。

1. 胆嚢炎 胆石によるものが多い。
2. 急性膵炎 アルコールと胆石によるものが多い。
3. 萎縮性胃炎 ヘリコバクター・ピロリ菌は胃炎の原因として最も多い。
4. 逆流性食道炎 肥満、加齢、胃酸過剰などによる。胃潰瘍
5. 潰瘍性大腸炎 原因不明

46-P-094 虚血性大腸炎について正しいのはどれか。

1. 初発症状は腹痛である。
2. 大半が手術適応となる。2~4週間の絶食
3. 好発部位は上行結腸である。下行結腸
4. 発症のピークは50歳代である。以上の高齢者
5. 頻回の下痢が発症の誘因となる。

便秘

虚血性大腸炎

50以上の高齢者
便秘がちな人に多い
突然の左下腹部痛
絶食による治療

48-A-093 絞扼性イレウスの特徴はどれか。イレウス = 腸閉塞

1. 保存療法で治癒することが多い。手術 絞扼性イレウスでは腸の捻着やヘルニアの嵌頓がおこなっているため、手術が必要となる。
2. 腸管の血流障害を伴う。
3. 腹痛は軽度である。強い。
4. 下血がみられる。は原則としておこなわない。腸がつかれているため、便が通過しない。
5. 結腸に好発する。

小腸

48-P-092 急性膵炎の特徴はどれか。

1. 細菌感染が原因となる。胆石やアルコール多飲が原因となる。
2. 尿アミラーゼが上昇する。
3. 膵癌を合併することが多い。との関係は少なく、軽症では2~3週間で完治する。
4. 糖尿病を合併することが多い。は無い。慢性膵炎によりインスリン分泌が体系的に減少すると、糖尿病になることがある。
5. 触診によって腫大した膵臓を触れる。膵臓の腫大はない。圧痛はある。

腸重積

49-P0-92 腸重積の特徴はどれか。

1. 高齢者に多い。乳幼児に多い。
2. 左側結腸に多い。回盲部に多い。
3. 腸雑音は亢進する。便を通過させようとして動きが亢進する。
4. 腸管の血流は保たれる。障害される。
5. 鼠径ヘルニアの嵌頓で起こるのは、絞扼性イレウスである。

イレウスの1つで腸の中に腸が入りこんでしまい、便の通過障害、血流障害がおこる。
乳幼児に多い。回盲部に多い。
高位空腸による整復が手術

50-P-094 急性膵炎について正しいのはどれか。

1. 膵石がみられる。~~多い~~。膵石は慢性膵炎患者にしばしば合併する。
2. 60歳以上の女性に多い。~~40~50代に多い~~。アルコール性のものは男性に、胆石によるものは女性に多い。
3. アルコール性が最も多い。アルコール性や胆石によるものなどがある。
4. 初期から糖尿病を合併する。慢性膵炎では糖尿病を合併する。
5. 重症での死亡率は~~1%未満~~である。
9%